



ロータリーは機会の扉を開く

会報

2020 ▶ 2021
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を
そして、これから100年に
向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

プログラム

- 本日
「スポーツの秋 特別企画」
RYT200ヨガインストラクター 谷 雅子氏
- 次週予定
「慶祝夜間例会」

- 会員誕生日
辻本 哲也
鈴木 康伸
- 配偶者誕生日
青山 志保

No. 2874
第9回 9月9日

出席報告

前
例
会

会員総数	27名
出免会員	3名
出免出席	3名
基準会員出席	16名
出席率	59. 52%

前
々
会

第7回 8月26日

欠席会員	8名
内メイクアップ	0名
修正出席率	70. 37%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 8月27日午後6時30分より商工会議所議員会議室にて、第3回定例理事会役員会を開催しました。ガバナー公式訪問の決算報告、8月末の会計報告を承認しました。
- 国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所より、2020~2021年度地区財団事業の留萌割り当て額が12万円に決定した事の連絡をいただきました。
- 2021~2022年度第1グループガバナー補佐推薦の依頼が来ています。理事会は会長経験者の会議を設け、前ガバナー補佐の對馬会員にガバナー補佐指名委員長をお願いする事になりました。本日對馬会員欠席の為、後日報告しておきます。なお締め切りが9月30日です。

📁 幹事報告

- ・深川RCより8月会報と9月例会案内を受領しました。
- ・赤平RCより8月会報を受領しました。
- ・芦別RCより9月例会案内を受領しました。

🗨️ ニコニコBOX

- ・渡辺理事、今日はようこそロータリーへ。よろしくお祈いします。 辻本会長
- ・昨日すてきな言葉を聞かせていただきありがとうございます。ピッカ君 高橋エレクト
- ・渡辺理事ようこそ留萌ロータリークラブへ。 串橋副会長
- ・渡辺理事ロータリーへようこそ。本日の卓話よろしくお祈いします。 関野会員

第8回 9月2日(水) 天候/晴

前 回 234,000円
今 回 5,000円
累 計 239,000円

プログラム……………

「来賓卓話」

留萌市地区戦略担当理事 渡辺 稔之様

留萌市役所の渡辺でございます。先ほど関野さんからご紹介があった通り、今から約12年ほど前に最後の留萌支庁の農務課長として赴任をいたしまして、その時に留萌支庁から留萌振興局に名前が変わりました。同時に農務課長と一緒に健康産業支援室長を拝命しまして、留萌健康の駆作りに携わる事になり、実質的な企画部門という事で、本来は農業が専門でしたが、農業以外の仕事にも携わる事になりました。

今、話のあった三省堂の誘致問題やルルロソの栽培販売等、これは農務課長でしたので専門分野ですが、他にキャンピングカーフェステバルなどの企画もありました。その時はかなり変わり種の仕事ばかりでしたので、色々と壁にぶち当たりご批判もいただきました。特に三省堂書店の誘致に対しては本当に辛い思いをしましたが、何とか連れてくる事が出来ました。その時背中を押してくれたのが、当時三省堂書店を留萌に呼びたいと言っていたボランティアの人達でした。「応援し隊」として今でも協力していただいております。彼女たちが居なかったら多分誘致には至らなかったと思います。またルルロソを作った時も、この品種は優良品種と言われている小麦ではなくて、北海道ではダメだと烙印を押された品種でした。ただ、このルルロソの品種の性質から留萌の状況を鑑みてこれを導入する価値があると判断し、導入を進めました。この時にも留萌の小麦で未来を変えたいと市民グループが立ち上がって、応援していただきました。キャンピングカーフェステバルを行った際も、実行委員会が立ち上がって協力をしていただきました。

この様に変わり種の仕事で留萌でやってきて10年経った今でも、その痕跡が残っている事を

うれしく思っておりますし、その時背中を押してくれた留萌市民の皆さんが居たからこそ、成し遂げられた事業だと思つと、何としても恩返しをしたいと、留萌振興局に異動願を出していた毎日でしたが、まったくその願いはかなわず、10年が過ぎ去ったのですが、今回中西市長からお声がけをいただきまして、まさに2年越しでお誘いを受けました。道庁側も折れたのか留萌市行きを承認いただけました。留萌市の為に全身全霊を掛けて恩返しをしたいと思っております。今は流行っている半沢直樹の中の「施されたら返し返す」といった、まさしくそんな感じで、私に与えられた2年で全力で仕事をしていきたいと思つます。

留萌市長の政策公約の中に、留萌市民の生活力の向上、稼げる留萌の基盤づくり、市民の安心の実現の3つの柱があります。また、留萌市の総合計画でも同じような項目が立ち上がっています。具体的にどの様な事をして、この様な事を実現していくのか、私に求められているのはそんな所だと思つています。私が留萌に来て一番重要視しているのが、稼げる留萌への基盤づくりという所に着手をしたいという事で、半年間仕事をしてきました。この稼げる留萌の基盤づくりが出来れば市民の生活力向上も税収も含めて、市民の安心への実現というのも叶うだろうと思つています。一つでも良いから具体的な成果をしっかりとお見せするのが私の責務だろうと思つています。本当は資料も作つて皆様にお見せできれば良いのですが、先週の金曜日にこの稼げる留萌づくりの着手の業務で情報漏洩がありまして大変な事になってしまったので、今日は具体的な事を話せなくなってしまいました。しかし、今いくつかの企業と話を進めていて、誘致を促しています。それらの企業にも留萌の資源を有効活用してもらつて来ていただく、そういう企業を見つけ出して来てもらう事で話を進めています。具体的な事は先ほど言った通りでお話する事はできませんが、留萌市にある皆さんが気付かなかつた未利用資源を活用しようと思つていて、ある大手の企業が賛同してくれておりますので、登山に例えると5合目位に

到達した感じです。ただこの手の話はどこで扱えるかわかりませんので、今スグには話すことは出来ませんが、その時が来ましたら、企業を誘致して雇用を確保し、それ等によって更に新たな所得を確保し、それによって留萌周辺にある企業についても大きな波及効果があるだろうと考えております。

更にもう一つある企業に接触をしています。名前を聞けばきつとお分かりになるような会社ですが、そこに留萌の情報を提供している状況です。私がいる2年間に出来るだけ早くに合うように考えていますが、もし2年間で出来なくても、しっかりとその企業とのパイプは繋げていこうと思っております。これらは留萌市長の言っている留萌の稼げる基盤づくりに間違いなく繋がっていくと思っておりますし、それが実現できれば留萌市民の所得や収入も上がり、更に税収もあがり、市民の安心の実現にもお金を回していく事が出来ると思えます。

私は留萌が好きでこの10年見てきましたが、企業誘致があまり熱心になされてこなかったのではないかと思います。色々考えていたけれど実現できなかったのかもしれないですが、今回のいくつかの企業を連れてくることによって、人口減少に歯止めをかける。歯止めをかける事は出来ませんが鈍化させることはできると思えます。留萌で働いてもらう環境を作り、物を消費してもらう環境を作る、これが最も重要な事だと思えます。そして、そこから出て来る税収で皆様に還元していくという、これが私が今進めている取り組みの柱の一つです。

もう一つは子供達に夢を与える事業で、これについては具体的に話をしても良いと思えますのでお話をさせていただきます。2018年北海道経済産業局からスポプラ北海道というスポーツを核とした、地域振興・経済活性化というのを果たしていくのに、プラットホームを立ち上げました。この中には皆さんご存知のレバンガ北海道や北海道ニッポンハム、コンサドーレ札幌などのプロ集団も参加しています。これはプロ集団のセカンドキャリア対策を何とかしたいという要望がありまして、北海道で誰が一番に手を



挙げるかという事で、留萌市で一番をお願いしたいという事で留萌市に赴任して参りました。プロ野球選手やサッカー選手が引退した後、留萌市に引っ張ってこようと考えています。子供達を教える卓越したプロの技術を留萌に迎える、確かに現時点でも立派な指導者が沢山おりますが、その方々をないがしろにする訳ではございません。これはプロに限ったわけではなく、アマチュアの優れた指導者も留萌に迎え入れるような事業でございます。球団も各学校が保証してくれるならという条件で受け入れるとし、子供の運動能力、学力、健康を向上させていく事で、この街を元気にする活動です。ちなみに、この活動はある球団へ既に打診が住んでいる状態になっており、人選を進めてくれている状態です。特に来年は、留萌高校が甲子園に行つてちょうど50年の節目になります。ですから、こちらの方も何とか企画を立てられないものか考えております。このスポプラ北海道とのコラボ事業がうまく連携できればと考えています。何度も言いますが、これは今いる指導者を追い出すのではないという事だけのご理解いただければと思います。プロのOB、OGを直接市役所の職員として雇って、子供達の指導をしてもらう企画です。その他、お年寄りの見守りなども考えておりこちらにつきましては、IOT、ICTを取り込んで老人の見守りや一人暮らしの見守り、お子さんの通学途中の見守りも実施していきたいと思っております。今お話しした取り組みの他にも、色々と考えている事がありますが、2年間の中で何とか実現していきたいと思っております。これらについては、お金がかかりそ

第8回 9月2日(水) 天候/晴

うに思えますが、そんなにお金を使わなくても出来る事業です。留萌市も財政も健全化が進んでおりますし、今が攻め時とっております。

今回、コロナ対策で留萌市もずいぶん頑張りましたが、留萌市として全部で7本の対策事業を展開しました。全てが緊急事態宣言下で必要な予算を必要な分だけ短縮した時間の中で、執行する事が出来たという事で、特にコロナ対策のプッシュプロジェクトとっておきませんが、特別定額給付金10万円の交付につきましても、一部は6月にずれ込みましたが、大半は5月の緊急事態宣言が出ている間に皆さんのお手元に届ける事が出来ました。休日に管理職が一堂に出勤して、一生懸命申請書を封筒に入れる作業をいたしました。とても原始的な方法でしたが、中西市長の元で職員が一致団結して作業をこなす事で市役所も変化を遂げておりますので、これであれば2年間の間に先ほど言ったプロジェクトを実現させる事ができるかなと思います。また、実現させなければいけないなと思います。

留萌市はもう間もなく人口が2万人を切ることとなります。切るのが致し方ないではなく、切らないために、また、切っても出来るだけ少なくならないように一生懸命あがいてみる事が重要であって、やはり人口は街の力の源になると思います。先ほど言った企業誘致、あるいは子供達の指導者を呼ぶことで、高校生などをたくさん留萌に呼ぶ。このような取り組みを行う事で、何とか人口減少を鈍化させ、場合によっては人口2万人を維持していく。また減ったとしても長い時間をかけて減少していくように、色々考えて街の活力を向上させたいと思っています。

今回、市長に呼ばれてやってきましたが、本当にうれしく思っておりますし、このような場所でお話する機会を与えていただいた事に感謝をしています。「一体、道から来た渡辺さんて何をやっているんだろう？」思っている方が多いと思いますが、実はこのような事をやっております。実際、具体的な話は出来ずにお話をしておりますが、1年後位にきっと現実的な話と

して皆様の前でお話しできると思います。その時に皆さんが「確か言っていたな」と分かっていたらと思います。その時が迎えられるように一生懸命努力をしていきたいと思っています。ぜひ応援をいただければと思います。

つたないお話でしたが、これで終わります。本日はありがとうございました。